
警官（ダウンタウンのコントを下敷きに）

ごはんライス

注意事項

このPDFファイルは小説サイト「小説家になろう」で掲載中の小説を、「PDF小説ネット」の変換システムが自動的にPDF化したものです。この小説の著作権は作者にあり、作者または「小説家になろう」および「PDF小説ネット」を運営するウメ研究所に無断でこのPDFファイルおよび小説を引用を超える範囲で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止します。小説の紹介や個人用途での印刷および個人用途での保存はご自由にどうぞ。

【小説名】

警官（ダウントアウンのコントを下敷きに）

【コード】

N5908D

【作者名】

ごほんライズ

【あらすじ】

今度はダウントアウンの宣伝です。ダウントアウンは奥田民生と同じくらい好き。

警官（ダウントアウンのコントを下敷きに）

警官（ダウンタウンのコントを下敷きに）

これ、ダウンタウンの昔のコントを下敷きにしています。今、DVDが出てるのでよろしかったらどうぞ。おもしろいよ。でも、収録されてるかなあ。タイトルを忘れてしもうたんで確認できん。

射殺するのに飽きてきた。去年は二千人くらい射殺してるけど何だかくだらなくなってきた。

ちなみにオレは警察官。

まったく腹が立つ。一日に数人は必ず悪いことをするヤツが出てくるからつい射殺してしまうが、これじゃ弾のムダだ。

給料を上げてくれればオレも喜んで射殺してあげるのだが、いかにせんこの安給料じゃねえ。拳銃ってね、撃つとごっつ腕が痛くなるんよ。

まあしかしそれでも撃たねばならない。仕事だからな。いや、というより初心を思い出せ。お前は力ネのために警官になったのか？ 違うだろう。世のため人のためになったのだろう。だったらちゃんとやれ。

てな感じで町内を巡回。てゆつとるうちに、やれやれ。また「ワル」がおる。

「こらあ」

ばあああああああああああああ。

「ぐぎゃあああ」

自転車の後ろに乗ってた女子高生の額に弾が命中。オレってほんとはプロだぜ。

額から血をプシューと出した女子高生は吹っ飛んで宙に舞い、道

路に飛び出した。ノーヘルでしかも二人乗りしてたのだ。なんというワルだろう。

道路に飛び出した女子高生は車にはねられた。車は足止めされ、一挙に交通渋滞になってしまった。迷惑なガキだぜ。ったく。

もう一人の女子高生が自転車から飛び降り、道路に倒れてる相方、グチャグチャの肉の塊かたまりに駆け寄った。

「よしこオ。よしこオ」

相方の死体を抱きかかえ、空に向かって叫んでる。やかましい。仲間の警官が交通整理のためにやってきた。

「田中さん。どうなされました？」

「いやね。こいつら、二人乗りしとったんですわ」

「マジですか？ そいつはひでえ」

女子高生は今にもオレたちを殺しそうな目つきで睨にらんだ。

「なにがひどいだよ！ 人殺し！」

オレたちは、手を広げ、やれやれ、ふうとため息をついた。

「あのね。君たち、二人乗りしてたでしょ。違法なんだよ。わかってる？」

「てめえ！」

女子高生は制服の内ポケットからジャックナイフを取り出すと、山本巡査に向かって突進した。

突然のことだったので、山本巡査は胸を刺され即死した。

「はあはあはあ。ざまーみる」

返り血を浴び顔が真っ赤になった女子高生はしばらく興奮していたが、だんだん冷静になってきて、怖くなってきた。

「ど、どうしよう。あたい、人殺しちゃった！」

今にも泣きそうである。

オレの足にすがり泣きついてきやがった。うぜえ。

「どうしよう、おまわりさん。どうしよう、おまわりさん。あたい、人殺しになっちゃったよう。人殺しになっちゃったよう」

警官（ダウントアウンのコントを下敷きに）

まったくこいつはアホか。法律をちつとも知らんな。

「お前なあ。何うるたえてんだよ。別に刑務所とかには入らなくていいんだから安心しろよ」

「わあーん！ わあーん！」

まったく聞いてちやいねえ。でもこれも仕事だから一応説明する。

「いいか？ お前が山本巡査を刺したのは、友達の敵、つまり復讐のためだろ？ そういうのは合法なんだよ。そりゃ、遊びで撃ち殺したとか試し撃ちしたとかだと罪になるけど、そういう立派な理由があるなら罪にはならないんだよ。食べ物を得るために八百屋の親父を射殺するとかね、そういうのはいいだろ？ 食うためってちや

んとした理由があるからね。射殺も食うための仕事労働になるわけ

逆にね、昔、石油のためにアメリカ合衆国がっしゅうこくって国が石油のよくとれるイラクって小さな国を分捕ろうとした時に、イラクの子供たちを

劣化ウラン弾つてもものすごい兵器で吹っ飛ばしてぐつちやぐつちやにぶつ殺したって犯罪事件があつたでしょ？ 我が国も喜んで支持してたけど、ああいうのはいかん。だって、それってアメ車を小さく

すれば済む話やん。アメ車はデカいからガソリンがかかりすぎんねん。燃費のかからない日本車に切り替えれば済む話やん。そりゃアメリカの言い分もわかるよ。今、あの国は大量の二酸化炭素を撒き散らしながらも環境問題に取り組もうとしてるからね。劣化ウラン弾だつてその一環だ。あれは核の廃棄物で作ってるのものすごい殺傷力のあるエコ兵器だ。リサイクルだ。再利用なのに、しかもクソの役にも立たん発展途上国のガキどもを大量にぶつ殺すことができる。環境にいいよね。ああいうのはいいわけ。わかる？」

涙と鼻水で顔がグシャグシャになった女子高生は道路にげろげろゲロを吐き始めた。

「うわ。汚ねえなあ」

しかたなしにオレは女子高生を射殺した。

「ぐぎゃあああああああ」

女子高生は額から血を噴出し、ゲロにまみれた山本巡査の上に倒

警官（ダウントアウンのコントを下敷きに）

れた。

「道路はきれいにしなきゃいけないという法律も知らないのか。近頃の女子高生は」

オレは腹が立って女子高生の死体の腹を蹴飛ばした。すると、死んでるのにぶうと間抜けな屁をぶっこきやがった。

ったく。最近では常識のないヤツばかりで困る。こつこついう「ワル」がいるからオレたち警官の仕事が増えるのである。困ったものだ。

（了）

警官（ダウントウンのコントを下敷きに）

広告募集中

小説関連広告に最適です。
出版社や印刷会社はもちろん、
個人の広告でもOK

縦：140mm 横：110mm

詳しくはPDF小説ネット広告募集をご覧ください。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネットは2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5908d/>

警官（ダウントウンのコントを下敷きに）

2008年11月7日08時24分発行